



■親子ワークショップ「みんなのまちを救え！大作戦」を開催します！

■親子ワークショップ

～みんなのまちを救え大作戦！ 「イザ」というとき どうするゲーム

阪神・淡路大震災が起きた1月17日は、「防災とボランティアの日」です。大地震に見舞われたら最初
は、命を守る「応急対策」が、重要です。その後自分たちの暮らしや生活を取り戻していく「復興対策」
がまっています。親子で楽しみながら、災害をイメージしてまちを再建するゲームを体験してみませんか。

■開催日時・場所

第1回 平成23年2月5日(土) 13:30~16:00

第2回 平成23年3月12日(土) 13:30~16:00

開催場所：貫井福祉園 2階 活動交流室

■実施内容

「まちの専門家」といっしょに親子で地元のガラクタ公園や貫井公園を散歩し、まちの宝物を探します。
その後、「もし地震がおきたらどうなるか」を考えながら、大きな地図と模型やブロックをつかって、みん
なの暮らしやすいまちをつくるゲームをします。

講師：首都大学東京 吉川 仁特任教授、市古 太郎助教

■募集人数：20組 (定員を超えた際は抽選)

■応募資格：貫井1丁目～貫井4丁目、富士見台3丁目～4丁目在住の小学生と保護者 2回とも参加できる方

■参加費：保険料一人(30円)大人・子供同額

■申込方法

下記の①～⑤についてお書きいただいたものをハガキ又はファックスで、

1月17日(月) [必着] までに都市計画課へお送り下さい。

① 講座名 「みんなのまちを救え大作戦！」② 住所 ③ 親子の氏名(ふりがなも)

④ お子さんの学年 ⑤ 電話番号

■担当者・連絡先

〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1

都市計画課 都市計画担当係 福井・新井

電話 03-5984-1534 ファックス 03-5984-1226



■まちづくり計画(修正案)はインターネットからご覧になれます！

・サイトアドレス (検索ワード：「貫井・富士見台地区」「まちづくり」)

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/kakuchiiki/nukui-hujimidai.html>

練馬区のホームページには、貫井・富士見台地区の過去の防災まちづくりニュースや、まち
づくりの計画などが掲載されています。より地域の皆様にまちづくりの状況をご理解を頂ける
ように、防災まちづくりニュースと併せて活用していきます。

ご利用ください！



■お問い合わせ先

練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 東部地域まちづくり課

(担当：田中、二森、小山、星野、甘利)

〒176-8501 練馬区豊玉北6丁目12番1号 電話：03-5984-4749 (直通)

編集協力：株式会社マ又都市建築研究所

貫井・富士見台地区

平成23年1月発行



まちづくりニュース

第6号

【発行】練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 東部地域まちづくり課

まちづくり計画の検討を進めています！

■まちづくり計画の案の説明会を開催しました！

貫井・富士見台地区まちづくり計画の案について、11
月10日(水)～15日(月)にかけて地区内の3箇所で
説明会を開催し、述べ107名の方にご出席いただきまし
た。出席されたみなさま、ありがとうございました。



■まちづくり計画の案を修正しました。

上述の説明会を含め、様々なご意見を頂き、まちづくり計画の案の修正案を作
成しました。修正案に反映させた主な内容は以下のものです。

- ・計画の位置づけと目的の説明を補足する。
- ・計画を実現するまちづくりの手法やまちづくりの進め方をより具体的に分
かりやすくする。
- ・計画実現にあたっての将来的な調整事項も記載する。

まちづくり計画(修正案)の説明会を開催します！

まちづくり計画の案をより分かり
やすく修正した内容を地域のみなさ
まにお知らせする説明会を右記の通
り開催します。

全ての日程で同じ内容の説明を行
いますので、ご都合の良い日程で
ご出席をお待ちしています。

まちづくり計画(修正案)の詳細
は当日配付する資料、もしくはホー
ムページにてご覧いただくことがで
きます。

● **1月14日(金) 午後7時～**
富士見台地区区民館2階 会議室2
(練馬区富士見台3-10-1)

● **1月16日(日) 午後3時～**
貫井福祉園(福祉工房)2階 活動交流室
(練馬区貫井2-16-12)

● **1月16日(日) 午後7時～**
貫井福祉園(福祉工房)2階 活動交流室
(練馬区貫井2-16-12)

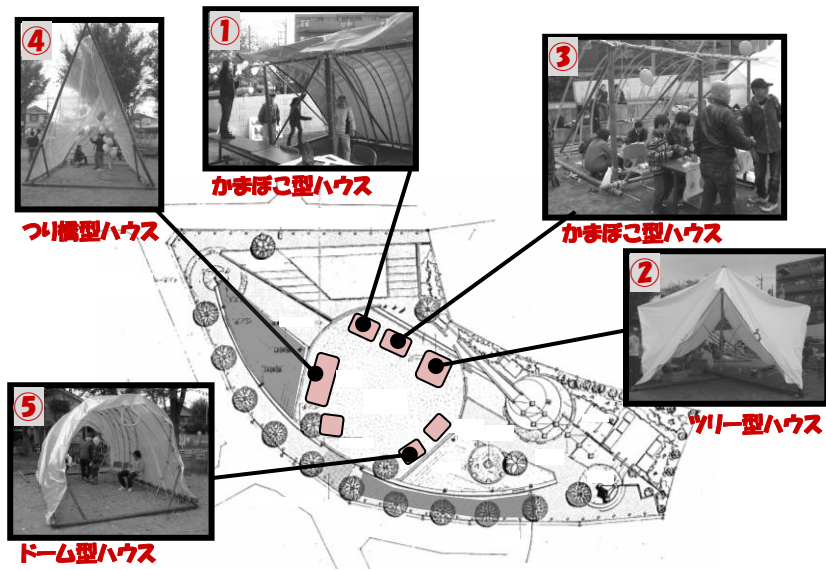
ホームページの閲覧については4ページへ

「バンブーハウスをつくろう！」を開催しました！

11月21日、区立ガラクタ公園で竹で作る家「バンブーハウスをつくろう！」を開催しました。バンブーハウスと、災害や復興は、一見何の関連もないように思えますが、実はそうではありません。災害対策が一段落し、復興に向けて動き出すときは、それぞれの地域で話し合いの場や物資の保管場所、情報発信の拠点が必要になります。そこで、登場するのが今回のような「バンブーハウス」というわけです。

*首都大学東京（八王子）の市古助教、猪熊助教の提案の下、建築都市コースの学生約40人と地元の方が協力して、6種類7基のバンブーハウスを組み立てました。

1. 開催内容



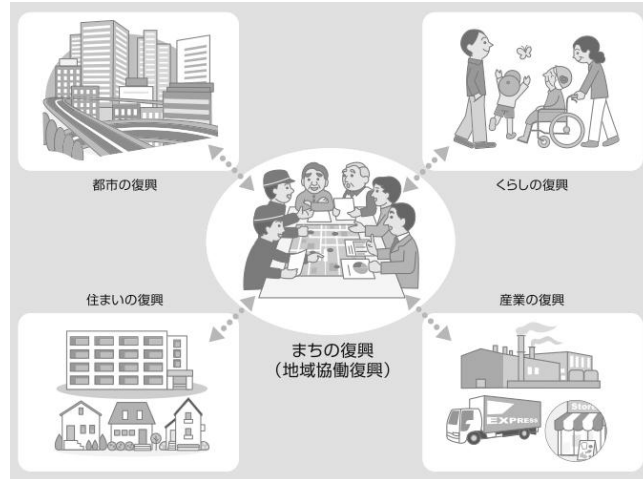
- 開催日時：11月21日（日）
午前11時～午後3時
- 会場：練馬区立ガラクタ公園
- 来場人数：約300人

- 各企画
 - ① 防災パネル展示の実施
 - ② 非常食カフェ
 - ③ 缶バッジの作成（子ども向け）
 - ④ 風船の配付（子ども向け）
 - ⑤ バンブーハウスの組立実演

震災復興の必要性

地震によって大きな被害が生じた場合、それぞれの住宅をそのまま再建したのでは従来と同じ災害に弱い「まち」となってしまいます。そこで、地域の方々が話し合い安全で住みやすいまちづくりを行っていく必要があります。

平成20年に策定した「練馬区震災復興マニュアル」では、「地域協働復興」という考え方を取り入れています。これは、「災害復興は、区と区民の皆様が協働で進める」というものです。そのためには、日ごろから、地域コミュニティを醸成しておく必要があります。これも、今回のイベントの大きな目標のひとつです。



震災復興について詳しくは、区のホームページをご覧ください。（検索ワード：「練馬区」「復興」）
<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/fukko.html>

2. バンブーハウスの利用

震災復興時には、地域のコミュニティの場、地域のシンボルとして簡単につくれるコミュニティコーナーとしての役割も期待されています。

当日は利用体験のほか、イベントにも使用しました。



● 防災パネル展示

震災事例の写真や防災まちづくりに関する情報を展示し、地域の資源や危険な箇所等についてご意見をいただきました。今後のまちづくりに、活かしていきたいと思います。



● 非常食カフェ

冷たい水で戻せるお餅やかんぱんを試食して、「意外とおいしかった！我が家でも用意しておきたいと思います。」との感想がありました。避難生活もおいしい非常食を備えておけば、安心ですね。



● 子ども向けのお楽しみイベント

災害時には子供たちやお年寄りの居場所づくりも重要です。バンブーハウスは災害復興時のコミュニティの場として使うことも考えられます。子供たちの笑顔はなにより大切です。

震災対策も大切ですが、それにも増して災害予防も重要です。震災等に強い「まち」をつくることによって、被害を食い止めたいことができます。それが、「防災まちづくり」です。



■地域の皆様と協力して防災まちづくりに取り組んでいきます！

「貫井・富士見台地区まちづくり計画」の具体的なまちづくりの方法である密集事業では、地域の皆様の声をより反映させながら、事業を推進していきます。

今後、地域の皆様と新たなまちづくりの推進組織を結成し、当イベントのような若者からお年寄りまで楽しめる防災の取り組みや、道づくり、家屋の建替え、公園づくりなどの災害に強く良好な住環境づくりを行っていきます。

様々な防災まちづくりの参加のきっかけをつくり、より地域のニーズに合った取り組みを地域の方と協力して進めていきます。

ご協力・ご参加頂いた皆さま、ありがとうございました！